

キャリア教育だより

平成29年3月21日

第68号

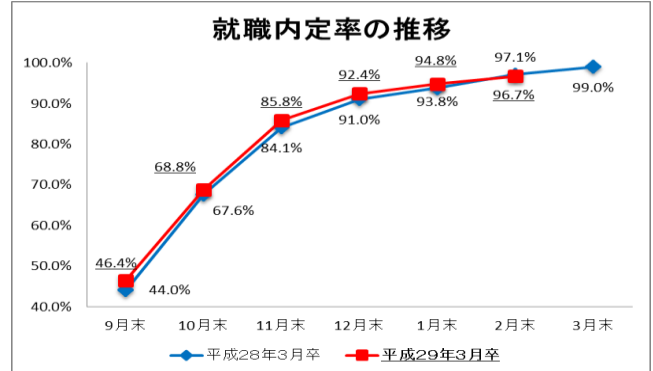
高校教育課

平成29年3月卒業予定者進路状況（2月末）など

※高校教育課調べ

平成28年度も残すところあと僅かとなりました。今月は各学校で卒業式が行われ、約2万人の卒業生が学び舎から巣立ってそれぞれの道に進みました。2月末時点の卒業予定者19,996名のうち、進学希望者は15,059名で75.3%（前年度74.5%）、就職希望者は4,723名で23.6%（前年度24.5%）、臨時的仕事希望者は164名で0.8%（前年度0.9%）となりました。

そのうち、就職希望者の内定状況は96.7%となり、



前年の97.1%より0.4ポイント下がりましたが、求人倍率が高い状況が続いていることなどから内定率が高くなったと考えています。

昨年の12月から今年の2月にかけて実施した「みやぎ高校生入社準備セミナー」は、31校で実施され、延べ2,355名の卒業予定者が受講しました。昨年の25校2,143名を上回る開催・受講者数となりました。宮城県は3年以内の離職者の割合が全国平均を若干上回る4割を超えており、多くの学校では定着率の向上を目指して実施したのと思われます。社会人になる不安はあるとは思いますが、困難に負けずに頑張って仕事を続けてほしいと思います。



在校生の皆様へ ～職業体験・インターンシップの勧め～

春季休業中は、将来の進路希望を実現するための準備期間として貴重な時間となります。全ての高校生は現在の進路希望を問わず、大人になれば働くこととなります。その時に主体的に進路を選択・決定するためにも、自らの生き方をしっかり見つめ、明確な目的意識をもって学校生活を送り、高校生のうちに勤労観や職業観を身に付け、将来の社会人・職業人として自立していけるようになることが大切です。

そのための手段の一つとして、全国の多くの高校では職場体験・インターンシップを実施しています。宮城県の場合は、産業教育を行っている専門学科・専門高校、総合学科高校は100%、就職希望者が多い普通科高校でも学校行事として実施しています。しかし、残念ながら進学者が大半を占める高校は、大学のオープンキャンパスや企業などの現場見学は行っても、実際の職業体験活動まで取り入れているところが少ないのが現状です。卒業学年になってから、入れる進学先を選ぶのではなく、将来を見据えた進学先を選択するためにも、職業体験を検討してみたい方は、いかがでしょうか？

学校行事にはないけれど体験してみたい方は、高校教育課キャリア教育班(022-211-3625)まで気軽に相談してみてください。



平成29年度高大連携事業 公開授業・公開講座に申し込もう！

県教育委員会では、高校生が自ら学ぶ意欲を高め、個々の興味・関心を持つ学問分野への理解を一層深めるとともに、主体的な進路選択を行うことができるようにするために、県内の高校生を対象として大学における高度な教育・研究に触れることができるように、高大連携「公開授業」の案内をしています。昨年度は10大学から89講座が公開されました。今年度は各大学から公開講座が提供され、現在、高校教育課のホームページに公開されています（随時更新中）。

大学生と一緒に受講し（高校生のための講座もあります）、高度な教育・研究に触れてみませんか！

高校教育課高大連携事業のページ <http://www.pref.miyagi.jp/site/sub-jigyuu/car-koudairenkei.html>

